

令和 7 年度大阪府景観審議会

第 1 回公共事業アドバイス部会 会議要旨

開催日時：令和 7 年 6 月 30 日（月）13:15～15:00

出席委員：若本部会長、田中専門委員、林専門委員

【大阪府営堺宮山台 4 丁第 3 期住宅民活プロジェクトについて】

○部会長

今回のようなデザインを、今後、大阪府として活かすために、どのように考えられているか。

→今回同様、PFI 事業については、次の PFI 事業の参考事例として活用していく。また良かった部分については、府が直接工事請負の契約をする発注方式（直建）の建替事業にも反映させられるよう、事業終了後に事業評価等において検討する。

⇒事業終了後ではなく、並行して検討していただきたい。

○部会長

元々あった高さ 90cm の石積の擁壁を残すことについて、建替事業の際に擁壁が 1m を超えるとすべて撤去の指導をされることが非常に多い中、1m 以下にして、緩やかな法面を残すことは意味のある事だと思うため、アピールした方が良い。

他のプロジェクトでもこのようなことを考慮した方が良い。

○専門委員

緑道沿いに住民の居場所づくりのような考え方が設計の中に生かされていることがすごくいいと思うので、繊細なところだと思うが、居心地のいい空間になるように頑張りたい。

○専門委員

エントランスから外を見ているパースが上手。

○専門委員

2ヶ所の階段をなくすとなっているが、防災上時に必要ではないのか。

→建物の避難経路は全て廊下側に位置しており、基本的には撤去する階段を使うことはまずないというところと、今の階段は高低差があり使われていない状況があるため、緑道に階段から誰でも上がられる状況より、少し閉じた形で散歩の広場がある方がよいと感じている。

○専門委員

現在のハザードマップの関係から影響がないのであれば、問題はない。

○専門委員

築山について、土を使う際、予算がなくてやはりやめるという話をよく聞くが、雰囲気も良さそうなので、やはりやめましたということがないようにつくっていただきたい。

→最後に植栽工事をする頃に土を盛ってもらうので、特段コストがかかるというイメージはなく、土が余ることもあるので、そういったことを踏まえ、土を入れている。残った場所であるためやめるつもりはない。

○部会長

資料を見ると、建物の色彩が変更されているように見えるが。

→パースにおける、太陽の当て方の加減であり、色彩に変更はない。

○専門委員

事務局へ運営方法について、説明内容が画面に反映されるような運営が必要。

⇒次回以降、作成資料の内容と、説明方法についてもう少し整理していきたい。

(大阪府池田保健所新築工事について)

○専門委員

既存樹木が健全でないのであれば伐採は仕方がないことだが、新たに緑の空間を創出していただけるということによいと思う。西側の緑地を歩けるようにするということもよい。

→既存樹木を伐採し、2.5mの高木と、中低木を周りの植生と合わせて選定し配置を検討。

○専門委員

駐車台数は減らせないとのことだが、それに代わる対応について

→駐車場の配置計画を見直し、北側に植栽基盤をとり、生垣を計画。

○専門委員

既存の高木を伐採するということはすごくもったいない気がする。周辺に大きな影響のある場所なので、そういったところを活かせるというのがとてもいいと思っていた。

→保健所とも議論し、施設所管課より樹木医に調査依頼したところ、健全性に問題があるとされ、台風などの倒木で危害が加わったときの維持管理責任が問われる懸念を考慮し、安全性の方を今回は優先させていただいた。

○専門委員

敷地内の緑地が増えることはとても良いと思うが、逆に内向き度が強まり、公共の施設が周りの地区も変えるような景観的な力というものが薄まることが心配である。既存樹木を全て伐採し視界が悪くなるという話があるとしたら、枝下の高さを上げると良くなるはず。このようなところも考慮していただき、周囲の建物が建てかわる際、巻き込む力を発揮できるような建物にしていいただきたい。

○部会長

アドバイス対応報告シートには対応不可との記載になっているが、既存樹木の撤去に対する新たな樹木の設置など対応されており、その他植栽についても意識して計画もされているので、これは対応済に値する。今後は自信を持って説明していただきたい。

○部会長

ファサードの色について、縞模様にする意味を教えてください。

→大きいボリューム感を極力分散して見せられるよう、窓を色分けすることで、少し圧迫感を抑えられる効果に期待し計画した。

○部会長

縞模様にすることで余計圧迫感がでるかもしれない。周りの建物とデザインが異質なため、共同住宅や戸建て住宅、前の植栽なども書いてみて、本当にこれがいいのかを確認していただきたい。場所に応じて使い分けるべき。なぜこの場所にカラーリングをするのか説明ができるようになっていただきたい。説明が難しければ、違う案を考えた方がいい。

○部会長

また、ここまで明度差をつけてきかせているデザインは周辺にもないため、周りに馴染むようなことをしつつ、公共施設としての必要なシンボル性を持たせるといい。縞模様にするにしても、明度差をもう少し落とすなど、もう少し考えてほしい。

○部会長

建物のサインの位置について、住宅らしい優しい風景に寄り添ってほしい。

○事務局

対応報告シートについてもご意見いただきましたので、これからはもう少し事務局の方でも、いただいたご意見と対応について確認・調整しながら進めたいと思います。

